

# 子ども達と迎えるクリスマス

ゆり組 井上このみ

今年初めて、子ども達と一緒にクリスマスを迎えようとしています。子ども達のお顔を思い浮かべながらワクワクして、お部屋にクリスマスの飾り付けをしました。翌朝、登園し、お部屋を見た子ども達は真っ先にクリスマスクリブの元へ駆け寄り、いきいきとした表情でクリスマスのお話をしてくれました。そして去年、はと組さんでクリスマスを経験した子ども達は、どんなクリスマスを過ごしたか、詳しく教えてくださいました。みんなそれぞれに楽しい嬉しいクリスマスの印象が残っているようです。今年も、そんなお祝いの日の訪れを、みんなで待ち望みたいと思います。

『トントントン♪』今日はなにかな～？ノックして小さな窓を大切に開きます。アドベントを迎え、アドベントカレンダーを1日1つずつめくります。

『シュッ・・・』ろうそくに火が灯される瞬間は耳を傾けます。そして影絵（降誕物語）が始まるのを心静かに待っています。

『う～まやのイエスは～♪』優しいお声でクリスマスの讃美歌を歌います。

毎日少しずつ、少しずつクリスマスが近づいてきていることを、子ども達と感じています。

幼い頃、私もこうしてクリスマスを楽しみに待っていたことを思い出しました。クリスマスの飾り付けでワクワクしたり、アドベントクランツの灯を見て、温かい気持ちになったり、降誕物語を聞いて不思議な気持ちになったり、アドベントカレンダーをめくる時にドキドキしたり・・・。「早くクリスマスが来ないかなあ」「クリスマス楽しみだなあ」と今年は、子ども達と一緒に過ごす中で純粋な心でアドベントを過ごすことができます。

今、子ども達は心を込めて、おうちの方へのプレゼントを内緒で作っています。小さい手でのごぎりを握り一生懸命、木を切りました。様々な経験の中でプレゼントをする喜びも子ども達は感じ始めています。

子ども達と、本当のクリスマスの意味をゆっくり一緒に考えながら過ごしていきたいと思います。家族、お友達、たくさんの人たちのことを大切に想いながら、イエス様のお誕生をお祝いしたいと願っています。